学校番号	T4001

令和８年度　芸能文化科

教科	芸能文化	科目	（学）芸能各論	単位数	1	年次	1～4
使用教科書							
副教材等	自主教材						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

技の教育力を重視し、人材バンクを活用した、プロの箏曲家を特別非常勤講師として招聘。できる限り生徒が実演可能な教材も導入し、自ら行うことも念頭に置いて授業を展開していきます。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
邦楽器の基礎的な演奏技術を身につけている。
【思考力、判断力、表現力等】
本物の古典芸能を体感するとともに、それらが上方の文化形成に与えた影響について想像力を働かせ、自らの表現力につなげることができている。
【学びに向かう力、人間性等】
邦楽器の演奏を通じて達成感を持ち、自尊感情を高めていくことができている。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・邦楽器の基礎的な演奏技術を身につけている。	・本物の古典芸能を体感するとともに、それらが上方の文化形成に与えた影響について想像力を働かせ、自らの表現力につなげることができている。	・邦楽器の演奏を通じて達成感を持ち、自尊感情を高めていくことができている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

月	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
4月	三曲合奏「三段の調べ」	三味線・琴・尺八を一通り体験させ、自分の希望する楽器を選ばせる。	a:自分の希望した楽器の演奏方法が理解できている。 c:日本近世史における芸能史の理解に意欲的に取り組んでいる。 c:楽器の演奏能力向上に意欲的に取り組んでいる。	鑑賞ﾉｰﾄ 実技試験 観察	鑑賞ﾉｰﾄ 実技試験 観察	鑑賞ﾉｰﾄ 実技試験 観察
5月	三曲合奏「三段の調べ」	楽器の基礎的な技術を身につけ、最終的には1曲が演奏できるようにする。	b:友人と合奏に取り組むために必要な工夫について考えることができる。 c:楽器の演奏能力向上に意欲的に取り組んでいる。	鑑賞ﾉｰﾄ 実技試験 観察	鑑賞ﾉｰﾄ 実技試験 観察	鑑賞ﾉｰﾄ 実技試験 観察
中間考査						
6月	三曲合奏「花かげ変奏曲」 「東の旅」	合奏曲の実習。 楽器別練習 邦楽器を使用した演奏を聴く 琴により、和音階を理解する。	a:琴の基本的な奏法と和音階を理解している。 b:琴の特性と和音階の親和性について考えることができる。 c:楽器の演奏能力向上に意欲的に取り組んでいる。	鑑賞ﾉｰﾄ 実技試験 観察	鑑賞ﾉｰﾄ 実技試験 観察	鑑賞ﾉｰﾄ 実技試験 観察
7月	各楽器別課題練習 琴・尺八「春の海」 三味線「野崎」	上方落語における人権感覚を学ぶ	a:琴の基本的な奏法と和音階を理解している。 b:琴の特性と和音階の親和性について考えることができる。 c:楽器の演奏能力向上に意欲的に取り組んでいる。	鑑賞ﾉｰﾄ 実技試験 観察	鑑賞ﾉｰﾄ 実技試験 観察	鑑賞ﾉｰﾄ 実技試験 観察
期末考査						
前期のみ開講(後期は開講しない)						

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度